

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月26日			記入者	
部 名	農業委員会事務局	課 名		内 線	5332
事務事業名	農地台帳整備事業				
予算上の事務事業名	農地台帳整備事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			31530	
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政 策 名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします				
基本施策名	第5節 都市農業の振興				事業開始年度
施 策 名	第3施策 農地の保全と農業基盤の整備				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
農業委員会等に関する法律・市農業委員会規定					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 記録・統計・保存 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
農地の保全及び利用関係を調整するため、農地法に基づく許可申請や届出受理に際して対象となる農地等について地積、地目、都市計画区分及び所有者等を確認することにより、当該事務を円滑に処理するため作成している。			農地法に基づく許可申請者、届出者 約 1,100 人		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
8月1日現在の農家台帳をホストコンピュータより打ち出し 2,117件					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	843	852	999	789	789
一般財源	4	63	936	726	726
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	839	789	63	63	63
人件費の合計	342	263	265	265	265
事業コスト合計(a)	1,185	1,115	1,264	1,054	1,054
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	農地台帳整備事業			対象名称 (単位)	農家台帳打出件数 (件)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	843	852	999	789	789
対象数	2,365	2,138	2,117	2,110	2,100
単位あたり経費(円)	356	399	472	374	376
前年度比		1.12	1.18	0.79	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	農家台帳作成件数増減率		指標式と指標の説明	本年度農家台帳作成件数÷前年度農家台帳作成件数×100		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	99.5	90.4	99.0			
目標	104.0	93.0	93.0	99.7	99.5	
目標達成度	0.96	0.97	1.06			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	許可申請件数		指標式と指標の説明	本年度許可申請等件数÷前年度許可申請件数×100 許可申請件数等増減率から許可申請等のニーズをみる		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	97.7	102.1	96.4			
目標	103.0	103.0	103.0	97.3	100.0	
目標達成度	94.9	99.1	93.6			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
B	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		農地及び農家の状況を速やかに確認することができ、いわば農地の戸籍簿である。		
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 不耕作農地や地目変更がなされた農地等の状況が入力されることにより、農地の実態が把握できる。			14 課題として認識されたこと 不耕作農地、違反農地及び地目変更農地情報が入力できるシステム改善が必要。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		引き続き農地の実態の把握に努める。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				